

授業科目名	がん看護学	担当教員	千葉恵子
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

【授業概要】

がんに関する一次、二次、三次予防におけるチーム医療のかかわりと看護のあり方について話し合う。がんを患う対象者と家族への心のケアや症状マネジメント、日常生活の援助や、特殊な治療を受けるために必要な患者教育とサポート及びがん看護に関する最新の知識と技術について、臨地における専門家を交えて話し合う。

【授業目的・目標】

1. がんの疫学的データと社会への影響について理解する。
2. がんの一次、二次、三次予防に向けた最新の対策と医療チームの役割について理解する。
3. がん患者とその家族の心のケアやスピリチュアリティ・ニーズに対応したコミュニケーション手法を修得する。
4. がんの多様な症状に向けた看護技術について説明できる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] がん患者の特殊性 がん医療の動向、がんとはどのような疾患であるか
がん看護の役割 がん予防・早期発見から
- [02] 課題に対するグループワーク①
- [03] 課題に対するグループワーク②
- [04] がん治療に伴う看護① 化学療法
- [05] がん治療に伴う看護② 放射線療法
- [06] がん治療に伴う看護③ 補完代替療法
- [07] がん治療に伴う看護④ 緩和ケア
- [08] 患者の意思決定をどのように支援すればよいか
がん看護学臨地実習オリエンテーション

【教科書】

大西和子・飯野京子編集（2011）がん看護学，NOUVELLE HIROKAWA

【参考書】

指定なし

【評価方法・評価基準】

レポート 100%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：テキスト 第1章・第2章について初回講義までに熟読する

事後学習：講義内容についてテキストの関連した章を参考に、振り返りを行う

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ．根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ．多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ．生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

最終レポートは、がん看護学臨地実習時に返却する。

【備考】